

【理事長声明】

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議し、ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求めます

2022年3月1日

富山医療生活協同組合

理事長 松井法生

2022年2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を行いました。

今回の行為は、ウクライナの主権、政治的中立、国際的に認められた国境内の領土保全を脅かすものであり、断じて許すことができません。国連憲章の原則にも国際法の原則にも反する侵略行為そのものであり、明らかな軍事力行使による同意なき他国の領土への侵攻に外なりません。国際秩序、国際平和を根本から揺るがす暴挙に対し断固抗議し、ロシアが軍事侵攻を即時中止しウクライナから軍を撤退させることを求めます。

また、プーチン大統領は、国際法である核兵器禁止条約に違反して核兵器大国であることを誇示して自国の核兵器保有に触れ、その使用を示唆して威嚇し、国際社会の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を示したことも断じて許されるものではありません。

医療福祉生協は「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる」を理念とし、事

業と運動をおこなっている協同組合です。私たちは、いのちを脅かすあらゆる暴力、武力行使、戦争に反対します。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻と主権侵害に断固抗議し、ロシア軍の即時撤退を強く求めます。

以上